

教育委員会だより

学校教育推進の重点(学校別紹介)

第2回「八鹿小学校」

「いのち輝く学校を創る」

八鹿小学校は、明治6年11月に創立され、歴史と伝統に根ざした教育が営まれてきました。長年にわたって八鹿つ子が、夢と希望を持ちたくましく成長してくれることを願う教育が行われています。

職員室に掲げている額に『培其根』(元京都大学総長荒木寅三郎氏書)があります。この意味は、「小学校の間に花が咲かないのなら、咲かなく



職員室に掲げられている「培其根」の書

ても大丈夫。根を養っていればいつか花は咲く。華やかで目立ちやすい花を早く咲かせようとしやすいが、それより根をしっかりと育てることに集中することの方が大切」というものです。

東井義雄先生(元八鹿小学校長)も「根を養えば樹は自ら育つ」と論じておられます。

脈々と受け継がれてきた精神を基盤に、今年度の教育目標を「いのち輝く学校を創る」としました。子どもたち一人ひとりの「いのち」が光り輝く学校を創るために、子どもたちを「させられる立場」から「する立場」に変容させることが大切だと考えています。

つまり、東井義雄先生の教え、「私は 私を創っていく責任者」を育てることです。

その実践の一つが「あいさつ日本一」、「読書日本一」を目指した児童会活動です。子どもたちの「気持ちのよいあいさつ」で元気もらったとの報告もたくさん



元気にあいさつをしながら登校

ん寄せられています。こうした活動を通して、自分を創っていく責任者として自分に納得できる「値打ち」のある生き方を目指す子どもたちを育てることに全力を傾注します。

また、その発表の場として、算数の自主研究会を10月23日に予定しています。さらに、環境教育の推進や八鹿地区防犯グループの活動を通しての「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」も実施します。

子どもたちが毎日元気に登校し、力いっぱい学習し、しっかりと遊ぶことで、子どもたちそれぞれが自分を創っていく責任者になってくれることを願っています。そのために、教職員全員が一体となって魅力ある学校、信頼される学校づくりに取り組みます。

(学校長 宇和野修介)

まちの文化財 ⑳

三宅の大仏

関宮地域の三宅区には、大宝閣と呼ばれるお堂があります。4間(約8メートル)四方の瓦葺きのお堂です。

この建物の天井は、柱材で4角形に50センチほどの区画に小さく区切った格天井となっています。この区画の一つひとつに、十六羅漢や草花の絵が描かれています。これは、八鹿町高柳に住んでいた明治時代の画家・小林礒川の絵です。

このお堂の中に阿弥陀如来立像があります。高さ1・1メートルの台座の上に、高さ3・5メートルの阿弥陀如来立像が据えられ、地元では「おおほとけさん」、「あみださん」と呼ばれています。

大宝閣復興帳という文政元年(1818年)の古文書には、明和の頃まであった阿弥陀如来坐像が朽ちて面像だけが残ったため、村で講を結んで、京都の仏師康雲に依頼して、文政元年に立像が完成したと書かれています。元々は三宅の巨堂にあったジヨウ



ガンジの本尊だという伝承もあります。

県立歴史博物館学芸員の神戸佳文さんは「金色の塗装のために細かい観察はできませんが、顔の形や表情は、平安時代後期の仏像の特徴が見られます。坐像の仏像を改修して、現在の阿弥陀仏の立像に作り直したものです。頭部だけは保存状態が良かったのでしよう。平安時代の仏像をもつ一度、利用しました。つまり頭部と体で作成年代が異なる珍しい仏像なのです。190年前の仏師の仏像に対する思いやりを感じます」と解説します。

古い阿弥陀如来坐像の胸や腕などの体も、朽ち木仏としてお堂の中に保存されています。江戸時代に修復された仏像ですが、但馬でも最大級の木造の仏像です。(社会教育課)

健康ワンポイントアドバイス

目指せ！虫歯ゼロ！

保健師 小畑美由紀

毎年6月4日から10日は「歯の衛生週間」です。養父市保健医療計画の柱にも歯の健康が示されていることから、今月は子ども虫歯について考えてみたいと思います。

虫歯を予防するためには、主に次の4点に注意しましょう。

①虫歯菌

産まれたての赤ちゃんの口の中には、虫歯菌はいません。口移しものをあげたり、はしの共有などで感染します。

家族みんなで口の中をきれいにしていきましょう。

②歯の質

乳歯や永久歯の強さは、妊娠4カ月〜生後11カ月の栄養の摂り方で決まると言われています。この時期に歯に良いたんぱく質やカルシウム、ビタミンなどをしっかりと摂って、強い歯を作ってあげることが大事です。

③食べ物

虫歯菌は甘い物が大好き。糖や炭水化物と反応して酸を出し、歯を溶かしてしまいます。特に生えたての歯はエナメル質が弱く、虫歯菌に対する抵抗力が十分ではありません。甘いおやつ・ジュースは要注意です。

④時間

ものを食べると、口の中は虫歯菌の働きで酸性に傾きます。

だ液の働きで、約20分後に元の状態に戻りますが、ダラダラ食べていると元の状態に戻れず、口の中は酸性に傾いたままです。

歯になりやすい状態が長時間続きます。よく噛んでだ液を十分出すこと、ダラダラ食べないようにすることが大切です。

また、寝ている間はだ液が少なく、虫歯もできやすい状況になります。寝る前の歯磨きは、特に念入りに行いましょう。

食事やフッ化物の応用により歯の質を強くし、規則正しい生活と正しいブラッシングで虫歯リスクを低くしましょう。

一生自分の歯でおいしく食べ、しゃべり、笑い、豊かな人生を送るためにも、家族ぐるみ、地域ぐるみで虫歯を予防していきましょう。

やっちゃんぶっちゃん



シリーズ

みんなで創る「のじぎく兵庫国体」

No. 15

炬火リレー走者に

市内中学生96名

のじぎく兵庫国体の開幕に先立ち、国体の灯を引き継いでいく炬火リレーが、養父市では9月18日(祝日)に実施されます。

このほど、走者区間8区間のランナーとして市内の中学生96名が決まりました。今後、練習会を実施し、1区間12人で大会旗、炬火をリレーしていきます。ご声援をお願いします。

あなたも国体選手に！

7月からデモスポ行事の募集が始まります

国体種目は全国から選手が集まる正式競技だけでなく、兵庫県民であれば参加できる40のデモスポ行事が各地で実施されます。皆さんも「国体選手」に応募されてはいかがでしょう。

5月から始まったパラグライダーに続いて、市内ではターフ、ウォークラリーの参加者募集が7月から始まります。ターフ大会実行委員会(☎6699-1160)、ウォークラリー大会実行委員会(☎6644-1141)までお問い合わせください。



歩いて町並み再発見 (ウォークラリー)

総合開会式入場者の

申し込みを受付中です

9月30日に神戸総合運動公園で行われる総合開会式では、「ありがとう、心から・ひょうごから」をテーマに、映画監督の大森一樹さんのプロデュースで、震災復興に対する感謝のメッセージを全国へ発信します。

「出会の喜び」と「未来に羽ばたく元気な兵庫」の姿を表現するミュージカルやさまざまなアトラクションが展開されます。県実行委員会、開会式の入場券の申し込み受付中です。▼申込期限/6月26日(月)まで ▼お問い合わせ/県実行委員会(☎078-1362-1906)